

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

（Ⅰ）労働時間

前年度（令和元年度）

雇用契約を締結していた全ての
利用者における延べ労働時間

13,004

時間

雇用契約を締結していた延
べ利用者数

2,403

人

利用者の1日の平
均労働時間数

5

時間

（Ⅱ）生産活動

会計期間（ 4月～ 3月）

前々年度（平成30年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

12,732,432

円

利用者に支払った賃金
総額

11,974,497

円

収支

757,935

円

前年度（令和元年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

12,143,920

円

利用者に支払った賃金
総額

11,442,142

円

収支

701,778

円

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（令和4年度）における実績（全体表「（Ⅲ）多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨

に関する制度を活用した人数 1名

※取得を進めた免許等：

調理師免許

制度の活用内容：

資格取得の際の試験費用を負担

②利用者を職員として登用する制度

◎職員として登用した人数 名

◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している ☐◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している ☐

※登用した日 年 月 日

就業時間： 時 分～ 時 分

職務内容：

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎在宅勤務を行った人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（在宅勤務）： 時 分～ 時 分

職務内容：

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制を活用した人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（コアタイム）： 時 分～ 時 分

職務内容：

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に従事した人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（短時間）： 時 分～ 時 分

職務内容：

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度を活用した人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（早出の場合）： 時 分～ 時 分

就業時間（遅出の場合）： 時 分～ 時 分

職務内容：

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎時間単位取得を活用した人数 5名

◎計画的付与制度を活用した人数 名

※取得した制度 有給休暇の時間単位取得 ☒計画的付与制度 ☐

取得した期間： 3月3日～3月3日

取得日数・時間 日 1時間

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等を取得した人数 名

※取得した内容：

取得した期間： 月 日～ 月 日

就業時間： 時 分～ 時 分

職務内容：

（※）当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

（Ⅳ）支援力向上

前年度（令和4年度）における実績（全体表「（Ⅳ）支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している ☒

◎研修実施回数 外部 2回／内部 3回

対象職員数 4人

うち研修受講者数 4人

※研修名 虐待防止研修

研修講師 郡山市基幹相談 佐藤清一郎氏

実施日・受講者数 1月18日 4人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において

発表している回数 回

※研修、学会等名

実施日 月 日

※学会誌等名

掲載日 月 日

発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している ☐◎他の事業所の視察・実習を受け入れている ☒

※先進的事業者名

実施日/参加者数 月 日 人

※他の事業所名 あさかの里すまいる

実施日/参加者数 令和4年 10月4～6日 1人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会等への参加回数 回

※商談会等名

主催者名

日時 月 日

内容

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している ☒◎当該人事評価制度を周知している ☒

人事評価制度の制定日 平成29年4月3日

人事評価制度の対象職員数 3名

うち昇給・昇格を行った者 2名

当該人事評価制度の周知方法

処遇改善計画に基づき

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している ☐

◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」

を受講している ☐

※配置期間 月 日～ 月 日

就業時間

職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に

福祉サービス第三者評価を受けている ☐

※評価を受けた日 月 日

第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント

規格等の認証等を受けている ☐

※認証を受けた日 月 日


規格等の内容

（※）実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	キッチンコスモス	事業所番号	0710301045
住 所	郡山市御前南六丁目13番地	管理者名	遠藤 慶介
電話番号	024-962-1220	対象年度	令和4年度

地域連携活動の概要	
<div><div><活動内容></div><div><p>郡山市役所</p><p>木曜日の週1回</p><p>庁舎内でのお昼の時間にお弁当の対面販売</p><p>利用者1名・職員1名で実施</p></div></div> <div><div><目的></div><div><p>コロナ禍での事業収益減少に伴い、郡山市と連携させていただき市内の複数の福祉事業所の商品の販売機会、福祉サービス事業所・事業内容の広報活動・周知を目的として取り組んだ。</p></div></div> <div><div><成果></div><div><p>令和4年4月～令和5年3月の期間で¥753,675の収入となった。</p><p>継続した販売をさせていただき、事業所としても対面販売の実績ができた。</p><p>リピートして買っていただけるお客様、顔なじみの方もでき、そういった事業所としての顔を定着させることができたことが非常に嬉しい点であった。</p><p>利用者の方には、お客様が自分たちの商品をどのように選んでいるか、お客様の反応を感じていただけることが非常に大きい収穫であった。</p></div></div>	<div><div><活動の様子></div><div></div><div><p>複数の事業所が参加していることで、自分たちの商品と比較できる状況がこの機会にもあり学びの機会であった。</p><p>販売員を担当した利用者の方は、通常弁当製造をする方のため、製造からお客様の手元に届くまでの流れを実際に知ることができ、より自分たちの商品に愛着を持っていただける機会となった。これらをローテーションを組むことでより意識を高く持ってくれる利用者が増えたことも良かった点である。</p><p>また、SNS等での発信内容でのお話がお客様からあったりと情報発信の仕方を新たに検討する機会ともなった。</p></div></div>

連携先の企業等の意見または評価			
<p>販売の度に多くの購買者が並ぶ事業所で、利用者も丁寧に対応し、市職員や市民から強く支持されている。</p> <p>固定客を飽きさせないようメニューを変化させたり、人気のメニューは数を増やしたりという創意工夫も見られ、販売に対し非常に意欲的な姿勢である。</p> <p>十分に地域定着しているが、販路拡大については継続的に検討を続ける必要性があると考えられる。</p>			
連携先企業名	郡山市（障がい福祉課）	担当者名	安藤